

教育政策リーダーコース

日本で初めてとなる、現職教育長や将来の教育長候補及び教育行政の幹部養成コースです。

▶「フレックス&プレイスカリキュラム制度」を導入

学生の要望等を踏まえた時期・場所で授業を受けることができ、学生の本務への負担軽減を図り、学びやすいものとしています。 ※一部、キャンパスでの集中演習があります。

「出張講義」

学生と教員で日程を調整し、原則土日等の休日に教員が学生のもとに赴き、授業を行います。

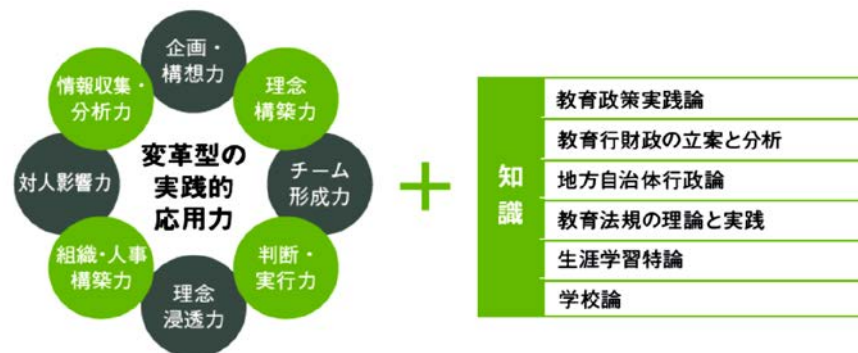
「VOD方式講義」

教員の授業を収録したDVDやネット配信でフレキシブルに学ぶことができます。

▶「実習科目」の充実

海外、自自治体首長部局・教育機関、他自治体等で実習を行う実習科目も充実しています。教員と実習先のメンターとの綿密な連携・指導により、地域教育行政の変革を推進し得る資質能力の獲得を図ります。

▶将来の教育長や教育委員会のシンクタンクとなる者に必要な変革型の実践的応用力を育成



▶地元で学べ、最新の高度な専門的知識・実践力が身に付くカリキュラム



▶全国各地の市区町村教育長を主対象とした「教育行政トップリーダーセミナー」に参加



▶現在、日本全国から教育長・次長5人、校長・教頭13人をはじめ、学校教諭、教育委員会職員等が在籍